

2020年10月1日

横浜国立大学
学長 長谷部 勇一 様

公益財団法人大塚敏美育英奨学財団
事務局

留学生推薦のお願い

拝啓 平素はひとかたならぬご厚情にあずかり御礼申し上げます。

さて、弊財団は国際親善と国際理解を担う有能な人材を育成することにより、日本と世界の国々との学術、文化、教育の相互発展及び友好の発展に寄与することを目的として、日本国内の大学及び大学院に在学する優秀な外国人留学生に対する奨学事業を行っております。

弊財団はこれまで貴大学の留学生を奨学生としてお迎えし、支援してまいりました。

2020年度に引き続き、2021年度も大学推薦による応募を受け付けることになりましたので、貴大学の優秀な留学生を是非ご推薦いただきたく存じます。別添詳細及び同封のパンフレットをご高覧の上、11月30日(月)までにご担当部署で下記応募書類をお取りまとめの上、弊財団までご推薦くださいますようお願い申し上げます。

なお、弊財団は大学より推薦していただく「大学推薦」と、留学生本人より直接ご応募いただく「直接応募」の2つの方法で奨学生採用を行っております。4月より募集を開始いたします「直接応募」にも積極的なご応募をお待ちしております。

末筆ながら、2020年度奨学生募集にあたり多大なご支援を賜りましたことに深謝いたしますと共に、貴大学のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

記

- ・対象者：大学院の正規課程に在学し、経営学に関連する分野を研究する学業優秀な外国人私費留学生（国籍の制限はありません）
- ・年齢：2021年4月1日時点で満38歳以下
- ・募集人数：経営学2名 **【学内申込：2020年9月30日(水)～10月30日(金)】**
- ・給付金額：年額200万円、150万円又は100万円
(弊財団選考委員会による評価に応じて決定。他奨学金との併給不可)
- ・奨学期間：2021年4月～2022年3月(1年間)
※奨学期間中、貴大学に在学していることが条件です。
- ・応募締切：11月30日(月) 必着

- ・応募書類：弊財団指定の奨学生願書・指導教員による推薦状（密封のこと）
成績証明書・在学証明書・住民票
論文のコピー（該当者のみ）
- ・提出方法：ご担当部署で取りまとめの上、別添に記載の弊財団事務局までご郵送ください。
※別途 Web 提出が必要です。詳細はパンフレットをご覧ください。
- ・選考方法：書類選考、面接及び選考委員会を経て理事会で決定いたします。
- ・選考結果：4月末日までに貴大学にお知らせいたします。

※推薦対象者の該当がない場合、又は募集人数に満たない場合は11月13日（金）までに事務局までご連絡ください。

(別添)

留学生推薦にあたってのお願い

(推薦対象者の資格)

- 大学院の正規課程に在学し、経営学に関連する分野を研究する学業優秀な私費留学生（在留資格が「留学」の者に限る。ただし研究生は不可）
- 在籍する研究科に関わらず、経営学に関する研究をしている留学生（経営学の基盤ができていない発展途上国出身の留学生については「国際関係学分野」も対象に含む）
- 2021年4月1日時点で満38歳以下の人
- 国際的視野を持ち、日本と母国の架け橋としてリーダーシップを発揮できる人
- 革新的な研究に携わる人
- 奨学期間中に研究成果が見込まれる人
- 学資の支弁が困難と認められる人
- 当財団のイベントや奨学生のネットワークに積極的に参加し協力できる人
- 日本語を学ぶ意欲のある人
- 財団に提出する書類（応募書類を含む）に対して指導教員などのしかるべき指導、チェックを受けられる人
- 標準修業年限内での修了が見込めない人は推薦対象外です（長期履修生やオーバードクターも不可）。採用されてから卒業延期となった場合は奨学生資格が取り消されます。
- 他奨学金との併給は不可です。
- これまで直接応募で1度でも弊財団の奨学生として採用されたことがある人、又は過去に弊財団に応募し不合格になった人は推薦対象外です（直接応募にてご応募ください）。推薦対象外の人が推薦された場合は不合格となります。

※弊財団で過去応募者の記録と照合いたしますので、予めご了承ください。

毎年、過去不合格歴があるという理由で複数の応募者が選考対象外となっています。被推薦者の応募歴が不明な場合は事前にお問い合わせください。

- 奨学期間中に合計40日以上日本を離れる人は推薦対象外です（帰省・旅行等も含む）。
※応募、書類選考、面接、認定式の時点で日本国外にいる人は推薦対象外です。
- 同じ研究室（指導教員）からの推薦は1名でお願いします。どうしても同じ指導教員から複数の推薦を希望される場合は、被推薦者に優先順位をつけた上で推薦状に「推薦順位とその理由書」を添付して密封してください（1名のみ推薦される場合は不要）。
- アルバイトなどの収入は選考結果に影響しませんが、JRA（Junior Research Associate Program）など給与として安定的に受給するものがある場合は推薦できません。
- 10年以上など滞日期間が長い人、留年や転学などのため必要以上の年数を学生として在籍している人、明確な目的のない2つ目の修士号または博士号の取得、両親が日本在住などの場合は、推薦対象となりません。

(国籍)

- 選考にあたり、特に国籍の多様性を重視します。
- 奨学生の国籍・地域を幅広く求めるため、同一の国・地域からの応募は各1名でお願いします。

※同じ分野、同じ国籍から複数の採用はいたしませんので、予めご了承ください。

願書の内容が乏しい場合や成績等、弊財団の奨学生の基準を満たさない人が推薦されてきた場合は不合格とする他、場合によっては願書の再提出または別の候補者の推薦をお願いすることがございますので予めご了承ください。

(応募方法)

申請サポートシステムを導入しています。「Web提出」と「原本の郵送」の両方の手続きが必要です。※詳細はパンフレットの別紙「申請の流れ」をご覧ください。

1. 被推薦者は <https://otsuka.yoshida-p.net/suisen/>より申請サポートシステムへ入り、「申請の流れ」に従って基本情報を入力の上、スキャンしてPDFにした願書(推薦状は除く)、成績証明書、日本語訳(英語で願書を記入した場合のみ)をWeb提出してください(論文など、指定されていない書類はアップロードしないでください)。ログイン用のIDとPasswordは同封の封筒の中の書面に記載しています。

※推薦状を除く願書の全ページ(写真のあるページはカラー)がアップロードされていない場合は選考対象外となります。

※Web提出する願書にも必ず写真を貼付してください。

※願書は必ずスキャンしてPDFにしてください(アプリなどで写真をPDFに加工したものは不可。横向き不可)。

※基本情報には願書に書いたことと同じことを入力してください。入力した基本情報と願書の内容に差異がある場合は選考対象外となります(特に氏名と研究タイトルに注意)。

Web提出のやり直しはできません。よく確認の上、提出ボタンを押してください。

2. Web提出後に通知される受付番号を指定の5箇所(「申請の流れ」STEP4参照)に記入の上、応募書類をまとめて大学の担当者に提出してください。
3. 大学のご担当者は応募書類をお取りまとめの上、事務局宛に郵送してください。

※Web提出した願書と郵送した願書に差異がある場合は選考対象外となります。

(応募書類)

- 願書は郵送したものをコピーしてお使いいただくか、メールに添付したものをプリントアウトしてご利用ください。弊財団ホームページからはダウンロードできません。
- 新規申請と継続申請、医薬系と経営系で願書が異なりますのでご注意ください。また、直接応募の願書は使用できません。誤った願書で応募した場合は選考対象外となります。
(該当する願書のみ同封しております。)
- 奨学生願書は推薦状以外、すべて応募者本人が日本語または英語で手書きで記入してください(消せるペンを使用不可。タイプした願書や代筆が含まれているものは選考対象外となります)。
- 推薦状は、在籍校で専門授業や研究指導を請け負っている方、及び可能であれば研究科長からのものをそれぞれ密封の上提出してください。
- 選考にあたっては推薦状の内容を重視します。具体的な内容が乏しい、前回の推薦状と大幅な重複がある、署名が自筆でない、応募者本人が推薦状を書いているなど、推薦状の不備は評価に影響します。また、推薦状が英語の場合は日本語訳を添付してください。
- 願書の内容について、正しい日本語(英語)で書かれていない場合、また科学的根拠や具体性、論理性に欠ける内容の場合は指導教員、担当部署のしかるべきチェックを受けていないとみなし、選考対象外とします。
- 日本語ができない留学生の場合、応募者本人が英語の手書きで奨学生願書を記入すれば応募可能ですが、必ず日本語訳を添付してください(両面不可。日本語訳の様式は問いませんが、願書の各ページに対応させてください。また、英語で書かれている部分は固有名詞を含めすべて訳してください)。不自然で意味の通らない訳、誤訳、大幅な訳漏れ等の日本語訳の不備は選考対象外となりますので、ご注意ください。
- 英語の手書きで記入する場合、「将来の抱負(将来の抱負とこの1年の進捗)」「研究内容(研究内容について、この1年の進捗と来年の研究計画)」「過去1年の成果及び活動」のマス目は無視して記入してください。ただし、上記3項目の日本語訳については必ず字数制限を守り、字数を明記してください。
- 選考委員が願書进行评估しますので、丁寧に読みやすい字で書いてください。英文の場合も同様です。乱雑な字、極度に読みにくい字は奨学金への意欲がないと見なして選考対象外となります。
- 願書の⑤外国人留学生担当部署には研究室ではなく、大学(研究科)の事務ご担当者の連絡先をご記入ください。
- 応募書類の詳細については、奨学生願書表紙の「奨学生応募書類チェックリスト」を参照してください。
- 応募書類は返却しません。

(奨学金)

- 奨学金は給付とし、返済の義務はありません。
- 奨学生の卒業後の就職、その他一切については本人の自由とします。

(奨学生の採用)

- 面接は大阪または東京で2021年2月中に行います(予定)。英語での面接も可能ですが、日本語で願書を記入した場合は日本語での面接となります。必ず応募者本人が使用可能な言語で願書を記入してください。
- 4月末日までに採否を貴大学に通知します。
- 採用された場合、弊財団が指定する「確認書」の提出及び2021年7月または8月に開催する弊財団認定式への出席が必須となります。
- 原則として9月に前期の奨学金を、12月に後期の奨学金を本人名義の口座に直接振り込みます。

【直接応募について】

- 従来通り、直接応募の受付は4月より開始する予定です。ただし、大学推薦により今回推薦された人は応募できません。

2021年度の直接応募の詳細につきましては、2021年3月下旬に弊財団ホームページに掲載します(それまでは2020年度の「募集要項」及び「応募Q&A」を下記URLよりご参照ください)。

【学内連絡先】
国際教育課留学生支援係
kokusai.shien@ynu.ac.jp

【願書送付先・お問い合わせ先】

〒540-0021 大阪市中央区大手通3-2-27

大塚グループ大阪本社ビル

公益財団法人 大塚敏美育英奨学財団

事務局 岩橋・佐々木・佐津川・前神

電話：06-6105-0870

email: info@otsukafoundation.org

http://www.otsukafoundation.org/

以上